

情報収集衛星の開発・運用事業費（内閣衛星情報センター）

8年度予算案 622億円 7年度補正予算額 328億円
 （7年度予算額 622億円 6年度補正予算額325億円）

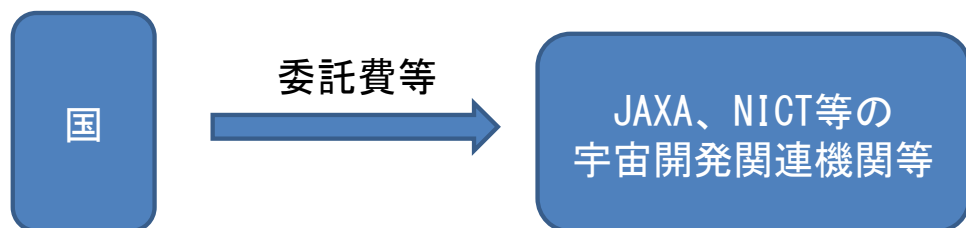
事業概要・目的

○ 外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的とした情報収集衛星の開発等を行い、政府の情報機能を強化します。主に以下の施策を実施します。

- （1）光学・レーダー衛星各4機及びデータ中継衛星を加えた機数増により、10機体制が目指す情報収集能力の向上を早期に達成するため、着実に衛星開発を進めます。
- （2）即時性の向上やデータ量の増加に対応した地上システムの開発を進めます。
- （3）情報収集衛星システムの機能・性能の向上を図るため、重要技術の先行研究開発を進めます。

○補正予算においては、衛星開発に必要な設計、材料等の調達、製作等を可能な限り早期に実施することで着実に開発工程を進め、打上げ遅延リスクを低減します。

資金の流れ

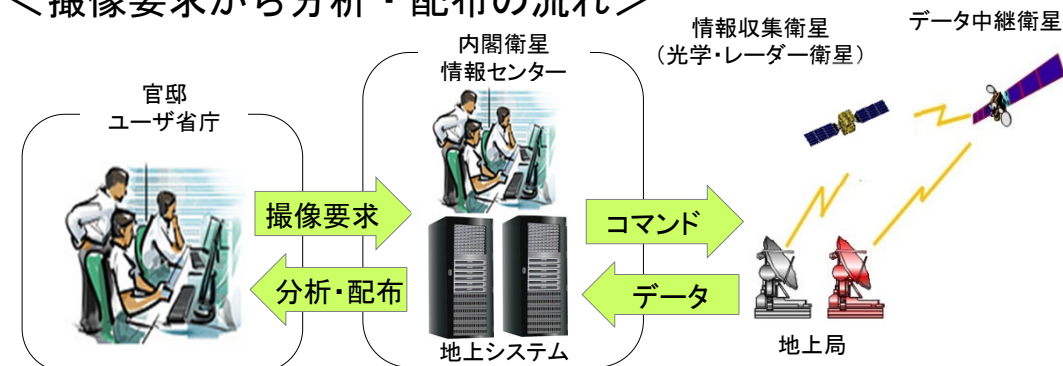


事業イメージ・具体例

＜機数増の概要＞

- ・ 光学・レーダー衛星それぞれにより、地球上の特定地点を1日に2回以上撮像することが可能。
- ・ 追加する衛星を基幹衛星と異なる時間帯に配備することで、様々な時間帯での撮像が可能。
- ・ データ中継衛星の利用により、伝送時間を大幅に短縮し即時性が向上。

＜撮像要求から分析・配布の流れ＞



期待される効果

○外交・防衛等の安全保障及び危機管理のために必要な情報の収集を確実にを行い、安心・安全な暮らしの実現に貢献します。

研究・開発及び打上げスケジュール

